



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
平成30年度 5月号 (2018)

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自立』の精神

“違い”を認め合い、高め合える仲間づくりを！

副校長 渡邊 泰祐

初夏を思わせる陽気が続き、校庭の桜やケヤキなどの木々はあっという間に若葉を纏うようになりました。新緑の眩しい西宮中学校は、106名（4学級）の新入生を迎え、平成30年度が新たに始動しました。

始業式、入学式から早1か月。当初は緊張した面持ちだった1年生も表情が和み、生き生きとした学校生活を送っています。また、2年生、3年生もそれぞれに凛々しく引き締まった表情で新年度を迎えることができ、一年間の頼もしい成長が感じられます。また、担任の先生や学年の先生たちも張り切って、新たな気持ちでクラスづくり、学年づくりを始めているところです。そんな生徒の皆さんや先生たちの姿を見ながら、かつて私が、入学したばかりの1年生を前に学年や学級開きをするときに、いつもこのような3つのお話をしていたことを思い出していました。

1 先入観を捨てましょう

「小学校の時、あの人、苦手だったな」「あの子、自分と合わなそうだな」

同じクラスになった人たちを、見た目や思い込みで決めつけていませんか？好き嫌いや小学校時代の噂話などだけで相手を判断してしまうことは、これからのクラス（学年）づくり、仲間づくりの大きな壁となってしまいます。

中学生になって誰もが新たな第一歩を踏み出す瞬間。クラスメートの新しく成長しようとしている姿や良さを互いに認め合い、高め合える仲間をつくっていきましょう。

2 自分を大切にするように仲間を大切にしましょう

「嫌だなあ」と思うことを、他の人にされた経験はありませんか。中学校では、行動する前に、言葉にする前に、自分がされたら、言われたらどう思うかを考えてみてください。また、どんな言葉をつかったら、どんな行動をしたらクラス（学年）の皆さんが仲良く、楽しくなれるかを考えてみましょう。つまり、クラス（学年）全員が、互いのことを思いやって生活する雰囲気をつくっていけば、嫌な思いをしたり悲しい思いをしたりする人が一人もいなくなるはずです。

とはいえ、30人いれば30通りの顔があるように、それぞれには個性や性格があり、考え方にも違いがあるわけですから、好き嫌いや相性の合う・合わないがあっても当然です。少し難しい話になりますが、ヒトには、自分の身体に合わないものを排除する機能が生まれつき備わっています。これは「免疫」といって、雑菌やほこり等、身体に良くないものを攻撃したり取り除いたりすることで、自分の身体を守る仕組みです。また、動物は本能的に、自分と違うものを攻撃して、自分の種を守ろうとするものです。ヒトにもこうした、ヒトに進化する前の本能がどこかに残っているといわれています。

ただ、人間と動物が根本的に違うところはどこなのでしょう。生物学的なヒトは、「人」と「人」との「間」で多くの関わりをもち、社会性を身に付けていくことにより、初めて「人間」になります。考え方が違うから、嫌いだから、自分と行動パターンが違うからなどの理由で、気の合わない人と関わらなかつたり、仲間外れにしたり、攻撃したりすることは、すなわち皆さんが「人間」として成長する機会を、自ら潰してしまうことになるのです。

これからの1年間、そして中学生としての3年間は、「人間」として大切なことを学んでいく場だと思ってください。集団生活の中では、我慢をしなければならないこともきっと出てくることでしょう。でも、自分と違う個性を尊重し合い、自分を大切にするように他の仲間を大切に優しい心を育んでください。

3 ゼロから出発しましょう

皆さんはまだ人生経験が浅く、失敗が許される年代です。小学校の時には、たくさんの失敗をしてきたことでしょう。中学生になった皆さんは、まだまだ多くの体験を通して、大人として生きていく力を身に付けていかなければなりません。

「ゼロから出発」とは、その失敗をいったんリセットして、心機一転、ゼロから新たにスタートしましょう、ということです。中学校への入学というのは、皆さんの人生の中で、一つの「節目」です。その大切な「節目」に、過去の失敗をいつまでも悩んでいたり、「また失敗するのでは」と不安に思っていたりしたままでは、良い出発ができるはずがありません。失敗をしてしまったら反省をきちんとし、他の人に迷惑をかけてしまったのなら「ごめんなさい」を言うなど、後始末をきちんとおけば、次から同じ失敗をすることはなくなっていくはずです。小学校の時の失敗はしっかり反省をして、ゼロから出発し直しましょう。

「中学校では〇〇をがんばりたい！」と、誰もが決意を胸に入学してきたように、皆さんの可能性は、限りなく広がっています。自分自身を信じて、様々なことに積極的に挑戦してください。一生懸命に打ち込んでください。今の新鮮な気持ち、きらきらとした目の輝きをもち続けてください。そして一年後、「ゼロから出発」した皆さんの「ゼロ」がいくつに増えているか、楽しみにしています。

4月の主な行事等 PICK UP !

新学年スタートの4月の日々は、慌ただしく過ぎていきます。西宮の4月の風景をお届けします。

対面式

迎える側も、迎えられる側も、まだまだ緊張。先輩も後輩も大変です。

開会のあいさつは、やはり緊張するものです。がんばっていました。



開会の言葉



クイズコーナー

クイズコーナーも盛況。生徒会役員が、前年度最後に行った“三年生を送る会”に続いて、経験を生かして作成しました。1年生だけでなく2、3年生も楽しんでいました。職員にとっても、なかなかの難問です。

進行にも工夫を凝らし、正解発表の前に「ファイナルアンサー？」の問いかけを行ったり、「本当にいいんですね？」などと念を押してみたり、シンバルを鳴らしてから正解を言うなど、盛り上げようとがんばっていました。

実にユニークな仕上がりでした。

これから、西宮中を知ってもらうためにクイズを行います。



とまどいながらもたくさんの手が挙がっていました。

対面式では生徒会役員による学校紹介だけでなく、委員会や部活動の紹介も行われます。昨年度後期の委員長が委員会紹介を行い、各部の代表が部活動の紹介を行いました。

委員会ではどのような活動をするのか、どんな心構えで臨むべきか。それぞれの旧委員長が、活動実績をもとに話をしました。部活動紹介では、各部活の特徴や魅力などを話し、1年生に熱い入部の呼びかけをしました。ユニフォームを着たり、作品を持ち込んで紹介したりと楽しい雰囲気の中進行了しました。



楽しいコントを交えた部活紹介も。



会の締めくくりは、2・3年生の歓迎の言葉と1年生の感謝の言葉です。前日の入学式よりは緊張も少なかったでしょうが、まだまだ硬さが残っているようにも思われました。

これから、どんどんと学校になじみ、たくさんの学び・経験をして、西宮での生活を充実したものにしていってほしいと思っています。



フィナーレは、吹奏楽部の演奏をBGMにした退場です。2日連続で、拍手と音楽で迎えられ、拍手と音楽で退場する機会はなかなかないことです。



土曜授業



30年度最初の土曜公開授業を、4月14日（土）に行いました。通常の授業に加え、1学年は、3校時にフレンドシップスクールのガイダンスを体育館で行ない、3学年は、杉並ボランティアセンターから所長の黒澤貴子様をお招きして社会貢献についてのお話をいただく機会を得ました。

本年度、フレンドシップスクールは1泊2日から2泊3日に日程を増やし、5月10日（木）～12（土）に、杉並区の交流自治体である新潟県小千谷市で行います。生徒たちは、スライドを見ながら目を輝かせて説明を聞いていました。

多目的室で行なわれた社会貢献学習では、地域や社会に貢献することの大切さや、ボランティア活動の意義について、パワーポイントを用いてご説明いただき、義務教育を終える学年の生徒としてふさわしい学びをご提供いただきました。



《5月の主な行事予定》

○ 1日（火） 開校記念日 内科検診（1年生）
評価評定説明会 部活動保護者会

○ 2日（水） 離任式

○ 3日（木） 憲法記念日

○ 4日（金） みどりの日

○ 5日（土） こどもの日

○ 7日（月） 2・3年生評価評定説明会

○ 8日（火） 区特定課題調査

○ 10日（木） フレンドシップスクール

～12日（土）

○ 14日（月） 振替休業日（1年生）

○ 15日（火） 尿検査（1次）始 16日（水）まで

○ 16日（水） 1年生評価評定説明会

○ 17日（木） 歯科検診

○ 18日（金） 生徒総会

○ 19日（土） 防災教育講演 引き渡し訓練

○ 21日（月） 45分授業開始 全校朝礼
教育実習始 安全指導 専門委員会

○ 22日（火） 心臓検診（1年生）

○ 24日（木） 中央議会

○ 28日（月） 生徒会朝礼

尿検査（2次）始 29日（水）まで

○ 30日（水） 体育大会予行